

決 済 動 向

— 平成5年7月 —

(平成5年9月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

7月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.0万件（前年比+1.1%）、金額ベースでは308.1兆円（前年比+8.0%）とともに前年比がプラスになった。金額ベースの内訳をみると、当座預金振替は、276.8兆円（前年比+10.0%）となったほか、民間の集中決済制度にかかる資金決済は25.5兆円（前年比△2.7%）となった。

7月の国債の決済金額・件数をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、金額ベースで90.0兆円（前年比+2.8%）、件数ベースで3.2万件（前年比+11.5%）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースでは3.4万件（前年比△11.1%）となった。金額ベースでは222.1兆円（前年比+13.7%）と、引き続き前年比増加基調にある。

7月の国庫金取扱（受払合計、1営業日平均）は、金額ベースで3.7兆円（前年比△11.3%）、件数ベースで47.5万件（前年比+0.2%）となった。

7月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高8.3兆円（前年比△4.7%）、支払高7.7兆円（前年比△1.9%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、7月の手形交換高（東京手形交換所の交換高、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは47.1万枚（前年比△12.0%）、金額ベースでは9.8兆円（前年比△12.3%）となった。

7月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、金額ベースで6.5兆円（前年比+1.3%）、件数ベースでも316.4万件（前年比+5.7%）とともに前年を上回った。

7月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、金額ベースでは22.7兆円（前年比△9.3%）となったものの、件数ベースでは、2.8万件（前年比+10.5%）と前年を上回った。

3. その他

7月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は8.3万契約（前年比+9.2%）、月末の建玉数量は73.8万契約（前年比+66.3%）と引き続き前年を上回った。

7月のS W I F Tの総送信件数（月中合計）は計数入手遅延のため、8月分に掲載の予定。

(信用機構局)